



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高梨哲男  
 幹事 高橋智弘  
 奉仕プロジェクト委員会委員長 渡辺敬藏  
 会報写真担当 梅津一匡

令和5年5月29日(月) 第32回 通算第1660回例会  
 令和5年6月5日(月) 第33回 通算第1661回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第32回例会 点鐘18:30

- ◇開会点鐘 高梨哲男会長
- ◇ロータリーソング「それでこそロータリー」  
ソングリーダー 佐藤卓立会員



- ◇お客様並びにビジター紹介  
米山記念奨学生 稽鐘源(ケイ ショウゲン)さん
- ◇会長あいさつ 高梨哲男会長
- ◇幹事報告 高橋智弘幹事
- その他のお知らせ  
・5月のロータリーレートは1ドル136円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡辺敬藏会員
- 宮崎秀剛会員=本日もよろしくお願ひします。
- 新会員及び米山奨学生歓迎会によせて——
- 高梨哲男会長 ○大平謹一郎会員 ○黒澤信之会員
- 久米允彦会員 ○齋藤武二会員 ○佐藤卓立会員
- 佐藤宗弘会員 ○佐藤慶行会員 ○高橋智弘幹事
- 高橋達也会員 ○寺島英樹会員 ○西形健吉会員
- 野尻榮一会員 ○渡辺敬藏会員

本日のスマイリングBOX集計15件 30,000円  
 ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。



- ◇閉会点鐘 高梨哲男会長
- ※会報カメラ担当 宮崎秀剛会員

懇親会

新会員：大内裕子会員、米山奨学生：稽鐘源さん歓迎会

出席者(敬称略)：大内裕子、大平謹一郎、久米允彦、黒澤信之、齋藤武二、佐藤卓立、佐藤宗弘、佐藤慶行、高梨哲男、高橋達也、高橋智弘、寺島英樹、西形健吉、野尻榮一、宮崎秀剛、渡辺敬藏、稽鐘源、小澤陽子(18名)

- ◇司会 高橋智弘幹事
- ◇乾杯 渡辺敬藏会長エレクト
- ◇懇親
- ◇新会員への記念品贈呈



- ◇中締め 寺島英樹副会長
- ※会報カメラ担当 宮崎秀剛会員

懇親会



第33回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高梨哲男会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 宮崎秀剛会員



- ◇「四つのテスト」唱和  
職業奉仕委員会 宮崎秀剛委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介
- ◇会長あいさつ 高梨哲男会長
- ◇幹事報告 高橋智弘幹事

- その他のお知らせ
- ・本日午後6時30分より新旧合同理事会が開催されます。役員理事の皆様はよろしくお願ひいたします。
- ・6月のロータリーレートは1ドル140円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

- ◇会報・雑誌・広報・IT小委員会 梅津一匡会員
- \*「友」6月号紹介



- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡辺敬藏会員
- 久米允彦会員＝会長幹事スピーチご苦労様です。
- 宮崎秀剛会員＝いよいよ6月です。今年度も最後までよろしくお願ひします。
- 渡辺敬藏会員＝高梨会長、高橋幹事、西形SA、皆様ご苦労様でした。7月からは私どもになりますので皆様よろしくお願ひいたします。

RYLA研修会参加報告と

会長幹事スピーチによせて――

- 高梨哲男会長 ○朝倉久仁会員 ○石川淳一会員
- 齋藤武二会員 ○佐藤卓立会員 ○佐藤宗弘会員
- 佐藤慶行会員 ○高橋智弘幹事 ○寺島英樹会員
- 野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円  
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇本日のプログラム
- RYLA研修会参加報告について  
東邦銀行 平美咲様

日時：2023年4月8、9日  
場所：母畑温泉 八幡屋  
「福島での12年間の活動 廃炉と復興への思い」  
震災から12年経った現在の福島原発が抱える問題、ALPS処理水についての講義でした。

ALPS処理水の安全性を認知してもらうための活動もしていることを知りました。

「アンガーマネジメント」～怒りの対処術～

ワークシートを用いて、最近イラッとした出来事や自身の怒りの許容範囲などを書き出し、どういときに怒りという感情が生まれるのか考える活動がありました。またペアワークとしてお互いに発表し合い、意見交換しました。怒りの対処法として、瞬間的な怒りを落ち着かせる方法や考え方も学びました。

海外視察雑感～百聞は一見に如かず～

海外視察先でのトラブルや出会いなど、田代さんが実際に海外で体験した出来事をお話してくださいました。

グループディスカッション(プレゼンテーション)

グループディスカッションでは、8人ごとに6グループに分かれ、\*課題(テーマ)が与えられました。そしてグループのメンバーと研修で学んだことを生かして話し合いをし、最終日に各グループごとに発表しました。

\*課題(テーマ)

「コロナ感染症の拡大は収まらず、日本各地で地震が発生しています。最近では、北朝鮮から日本海に向けて頻繁に爆弾が発射され、ウクライナの紛争も続くなど、世界情勢も大変不安定になっています。現在、あなたは職員50名程度の会社に勤めており、この度10名の職員を抱えるグループリーダーに就任いたしました。社会的にも経済的にもこの先不透明な危機に直面していますが、あなたはこれから会社を危機から救うため何をしますか。」

まとめ

グループワークにおいて出された様々な意見をまとめ、方向性を決め、それに向かって取り組んでいくことが課題解決に繋がると思いました。また皆が納得して取り組むには意見を出し合うしかなくも学びました。

○会長スピーチ 高梨哲男会長



私は一年間の長きにわたり、この偉大な西RCの会長を務めさせていただき、その間多くの学びと成

長の機会をいただき心から感謝しております。ここに私の任期を振り返り、一年間の活動を反省し、私なりに懺悔をしたいと思えます。

最初に私達RCが掲げた目標とイマジンロータリーについて述べますが、地域社会の発展と人道的奉仕を追求することを使命とし、これを実現するため私達は様々なプロジェクトやイベントを企画し、実行してまいりました。しかしながら反省を通じて気づいたことは、より具体的かつ効果的な活動が求められ、地域のニーズに合わせたプロジェクトを展開し、さらなる奉仕活動の向上に務めるべきと謳っています。

様々な人間関係の狭間でこの年まで生きていますが、思い起こせばこの間の自分の歴史に暗い影を落とすことなく、RCの皆様とのお付き合いの中で、この一年は特別な思いがありました。

元来いい加減さを武器にしてRC活動を観念的かつ原則論を主観的なスタンスで小難しく考えず、しがらみを無視し、好々爺然として時々の思いついた言葉で伝統ある聖域のようなところに対峙していれば、共感・共有していただけるかどうかなど全て結果論として、逃げて、片付けてしまえばよいと思っておりました。

会長職の責務や実績といわれることがあるとすれば、極めて希薄で倫理観の欠如の元に発生したことで、近視眼的な『光陰矢の如し』に例え、引き際を常に模索しておりました。

やりたくなかったのは勿論本音で、この間の私の言動を観察していただいた皆様には一目瞭然でしょうが、RC活動は可視性や認知度を高めるためには地域社会での存在感を増すための広報活動や宣伝充実が欠かせませんが、来年度には地元メディアへの積極的な情報提供やソーシャルメディアの活用など広範な層に私達の活動をアピールすることも必要です。

課題に対して矜持は全くありませんでしたが、逃げるつもりもありませんでした。常に肯定的に捉えていた訳でもありません。貴重で価値があり、満足度や達成感があるか、数値ではなく義務感でもない、スキルでニヒルな活動がイマジンロータリーへの共感に繋がるような気がしていました。

私のスタンスなど関係なく、RCの会長としての予測など誰も立てないし、自分でなくて良かった人が大半だと思います。

長くなりましたが、私の戯言も本日で終わりです。西RCの皆様には心から感謝の意を表します。よくぞこんな私の価値観にお付き合いいただき、ご協力とサポートがあったからこそ、それなりの成果を収めることができました。

この感謝の気持ちを忘れず、今後も更なる飛躍を遂げるため努力を重ね、共に西RCへの名誉を高め、地域社会に貢献していくのを見守りたいと思えます。この一年の数々の迷惑や失態は私の人間性とご理解いただき、忘れてください。

## ○幹事スピーチ「2022-23年度を振り返って」

高橋 智 弘幹事



改めまして、皆さんこんにちは。2022-23年度を振り返っての幹事スピーチをさせていただきます。

高梨会長年度の活動を振り返ってみますと、まず何といても、当クラブ最重点事業であります「少年野球大会」が3年ぶりに8チームを招待して2日間無事に開催できまして、本当にほっとしております。ただ、松陵中学校がコロナにより参加を辞退したことは、しょうがないのですが、大変残念でした。大会自体は附属中学校が優勝という結果に終わり、引き締まった試合が多かったような気がします。大会の役員をはじめ、会員の皆様のご協力があったの大会成功でありますので、本当に感謝申し上げます。また、今回も大会後にエキシビジョンマッチとしまして、二本松ロータリークラブさんとの交流試合が行われました。今年は練習の成果と黒澤監督のナイスピッチング、各選手のファインプレーも飛び出し大勝という結果に終わり、その後の懇親会も含めて、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

一方、今年もコロナウイルスの影響があり、ガバナー晩餐会は中止となり、当クラブがホストの新世代会議も、寺島実行委員長、佐藤宗弘青少年奉仕委員長には、色々お骨折りいただいた中での中止となり、幹事として取りまとめうまくできなかったことも含めて、大変申し訳なく思っております。また、コロナが落ち着きを見せない中での開催となった合同新年会におきましては、会員の皆様全員のご協力のもと、無事に開催できましたこと、深く感謝申し上げます。

年間を通して幹事としての自分を見ますと、前年度に会長をやっていたにも関わらず、抜けている部分が多々あり、例会・理事会進行などが遅れたり、会長はじめ、会員の皆様、事務局にだいぶ負担をかけてしまったように思います。7月からの渡辺敬藏会長年度においては、微力ながらお役に立てるように頑張りたいと思います。この一年間、会員の皆様に支えられて、何とか乗り切ることができそうです。感謝申し上げます。そして、高梨会長、小澤さん一年間本当にありがとうございました。簡単ではございますが、幹事スピーチとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘

高 梨 哲 男会長

※会報カメラ担当

梅 津 一 匡会員